

特別養護老人ホーム 杏樹苑滔々館

(杏樹苑滔々館短期入所生活介護事業所含む)

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

個別性が保たれやすいユニット型施設ではありますが、引き続き様々な感染症の脅威を感じておりますので感染症対策の継続は必須と考えます。特別養護老人ホーム杏樹苑滔々館の理念である「自然」「共感」「共存」を基本とし、個々の方に合った「暮らし」の提供を確実に実施してまいります。昨年度から継続している取り組みとして、人間に必要不可欠で尊厳を重んじるべき排泄ケアに関しましては、入居者並びに利用者一人ひとりの状態に合わせた対応を実施し、自立支援につなげてまいります。

そして、高齢者のケアに対して日々新しい情報を得る事は重要と考えますのでオンラインや対面での研修・勉強会等を状況に応じ計画的に実施することで中身のある学びを通じ職員の資質向上を図ります。介護の専門職として職員間の連携を密に図り、根拠に基づいたサービスの提供が図れるように努めてまいります。

【私たちが提供できる価値】

《介護課》

私たちは、利用者主体の方針を基に 24H シートを活用し、その人らしい暮らしの継続を提供できるように努めてまいります。

昨年度に引き続き、個別ケアを基本としてその方の生活に沿った排泄時間での支援を検討し失禁を減らしてより良い快適な排泄が行えるように努めてまいります。

《看護課》

私たち看護職員は、施設の看護師としての役割を全うして、入居者の健康を守り、安全の確保と安心して生活できる環境づくりに努めます。

感染対策を施設全体で行い、標準予防を行っていきます。看護学生の老年看護学実習を受け入れ、看護師の育成に協力します。

《栄養課》

入居者並びに利用者の皆様が生活していく中でお食事は、楽しみの一つです。提供するお食事が安全に美味しく、楽しくなるように努めてまいります。調理業務については委託にて行っていますが、引き続き厨房スタッフとのミーティングの場を多く設け、お互いの意見を尊重し、協力しながら、業務を遂行していきます。

入居者並びに利用者の皆様と多くコミュニケーションをとり栄養状態を把握していきます。また、栄養ケアマネジメントを実施し低栄養、褥瘡を有する状態にならないように多職種と連携し個別ケアに努めてまいります。

《相談課》

今まで同様、感染症対策に努めながら入所やショートステイの受け入れを継続的に行っていきます。入所者並びに利用者の尊厳の保持、自立支援、重度化防止の取り組みや看取りへの対応の充実など生活施設としての役割を途切れさせない様に努めてまいります。新たに機能訓練課が設置されましたので今まで以上に苑内での多職種連携に力を入れていきたいと考えております。外出、外泊などのご家族様からのご要望などや多様化するニーズにも応える体制を整え、社会との繋がりが実感できる生活が送れるように支援してまいります。

《総務課》

私たちは、法人の理念、方針のもと、生活されている入居者をはじめ、すべての利用者が安心して過ごせるよう多職種と連携、情報共有していきます。来苑者にとって「最初に対応してくれた人」となるため、笑顔を絶やさず明るく温かい対応を心掛けます。

不安なく長期にわたり働ける職場となるよう職員への情報発信、サポートをすることでより良いケアにつなげていきます。

《機能訓練課》

令和6年度に機能訓練課は、新たに創設されました。

私たちは、施設をご利用されている方々の「その人らしい暮らしの継続」を支援するとともに、施設に入居していても、最後まで自律した暮らしができるよう、また、施設にご入居されることで孤独を感じてしまわぬよう、身体的・精神的・社会的な観点からサークル活動を通じ、好きなことを、楽しみながら行える環境づくりを提供します。

【年度終了時の展望】

入居者並びに利用者一人ひとりの状態に合わせたケアの実施と、事故防止などの危機管理対応を図ることで、心身の状態変化の少ない生活を維持し無用な入院が無いよう施設運営を行いたいと思います。様々な感染症対策は、高齢者施設として必須であるため継続し、施設・フロア・ユニット、各単位での行事の開催を確実に行之、個別の趣向や趣味などに対するサービス提供も開催してまいります。職員一人ひとりのユニットケアへの理解を深める機会である会議や研修の機会は、対面・集合など内容に合わせた形式での開催を継続することで中身の充実を図ります。その事が職員個々の自信に繋がり、入居者並びに利用者の「暮らしの継続」と職員の専門職としての資質向上が図れると考えます。

上記の充実を図ることで安定的な稼働を生み出し、算定可能な加算算定を積極的に行いながら、待機者の確保が難しくなっております長期入居においては70床中95.0%の稼働を目標とし、ユニット型短期入所生活介護事業に関しては、法人ホームページを活用した切れ目のない情報発信や個別余暇活動の充実等を図り選んでいただけるよう努めます。特養の空床ベッドの利用調整も積極的に行い93.0%稼働を目標にしたいと思います。地域や外部機関との連携も積極的に行い、地域貢献、他職種連携の充実も図ってまいります。

行事計画

月	内 容	備 考
令和 7 年 4 月	・ 開設記念日 ・ 買い物外食ツアー	4 月 1 日 4 月中旬
5 月	・ 菖蒲湯週間 ・ 美味しい新茶を飲もう ・ 鯉のぼりを見に行こう	5 月初旬 5 月中旬 5 月中旬
6 月	・ お蕎麦の会 ・ 梅雨のドライブツアー ・ コンビニ販売	6 月中旬 6 月中旬 6 月中
7 月	・ 七夕祭り ・ 流しそうめんの会	7 月 7 日 7 月中旬
8 月	・ 夏祭り ・ 花火大会	8 月初旬 8 月中旬～下旬
9 月	・ 敬老会 ・ さんまを食べよう ・ 防災の日	9 月 16 日 9 月中旬 9 月中旬
10 月	・ 大運動会 ・ 秋の味覚を楽しもう（焼き芋）	10 月中旬 10 月中旬
11 月	・ 買い物外食ツアー ・ 芋煮会 ・ 公園を散歩しよう（森林浴）	11 月初旬 11 月中旬 11 月中旬
12 月	・ 柚子湯週間 ・ クリスマス会 ・ 大忘年会	12 月初旬 12 月中旬 12 月中旬
令和 8 年 1 月	・ 初日の出を見る会 ・ 餅つき ・ 初詣に行こう	1 月 1 日 1 月 2 日 1 月中旬
2 月	・ 節分 ・ コンビニ販売	2 月 3 日 2 月中旬
3 月	・ 雛祭り ・ 桜を見に行こう	3 月 3 日 3 月中旬

* 誕生日会は、毎月行います。